

製品名: リン酸化 PAK1/2/3 (Ser144/Ser141/Ser154) ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab00680

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,FC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 61 kDa; Observed MW: 65 kDa

抗原情報

遺伝子名	PAK1/PAK2/PAK3
別名	ADRB2; Alpha-PAK; CDC42/RAC effector kinase PAK-A; EC 2.7.11.1; P65-PAK; P68-PAK; PAK1 (phospho S144); PAK2 (phospho S141); PAK3 (phospho S154)
遺伝子 ID	5063/5058/5062
SwissProt ID	O75914/Q13153/Q13177
免疫原	標的タンパク質の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

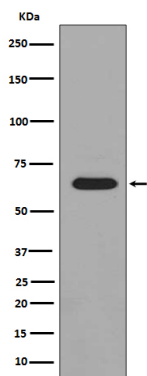
背景

PAKタンパク質は、RhoGTPaseを細胞骨格の再構築および核シグナル伝達に結び付ける重要なエフェクターです。PAKタンパク質はセリン/スレオニン p21 活性化キナーゼファミリーであり、PAK1、PAK2、PAK3、およびPAK4が含まれます。

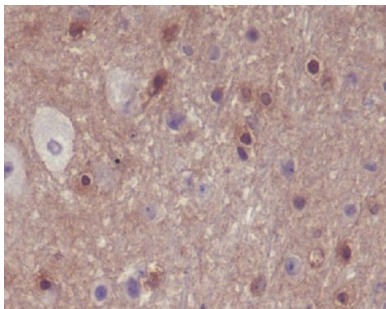
研究分野

神経科学

画像データ



ラムダホスファターゼ処理した HeLa 溶解物中の Phospho-PAK1/2/3 を Phospho-PAK1/2/3 (Ser144/Ser141/Ser154) 抗体を使用してウエスタンブロット分析しました。



リン酸化 PAK1/2/3 (S144+S141+S139) 抗体を使用したパラフィン包埋マウス脳の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。